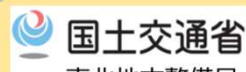


八戸港の災害復旧状況について

三八県土整備事務所 八戸港管理所



八戸港湾・空港整備事務所



三八県土整備事務所

八戸港管理所

八戸港管理所では、令和7年12月8日の青森県東方沖地震で被害のあった港湾施設について、工事の復旧状況を定期的に紹介します。



地震の概要

令和7年12月8日23時15分ごろに発生した青森県東方沖地震は、マグニチュード7.5、震源の深さ約55km、青森県八戸市で最大震度6強の揺れを観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度6弱～1の揺れを観測しました。また、太平洋沿岸では津波警報が発令され、最大で70cm程度の津波も観測されました。

八戸港の被害概要

八戸港に近い観測所は2箇所あり、八戸市港町では震度5強の揺れを、八戸市内では震度6弱の揺れを観測しました。

この地震による被害の特徴として、一部の港湾施設で液状化が発生し、段差や沈下による被害が発生しました。

液状化による被害箇所は、

- ・八太郎2号埠頭 国際コンテナターミナル（拡張部）
- ・河原木1号埠頭 B岸壁エプロン
- ・臨港道路 河原木1号埠頭3号線
- ・フェリーターミナル（所管：青森県フェリー埠頭公社）

の4箇所となっております。

このほかにも、岸壁や臨港道路、緑地帯の舗装などで、ひび割れや段差などの被害が発生しました。

主要港湾施設の復旧状況

国際コンテナターミナル（拡張部）

平成30年に完成したコンテナターミナル拡張部（約18,000㎡）において、地震により液状化が発生、その影響で舗装面の沈下及び一部のケーソンに移動が生じました。

現在、以下の復旧方針で進めています。

- ・沈下、破損した舗装は原形復旧とし全面補修を行う。
- ・移動したケーソンは背後土圧を軽減するなどして液状化の土圧に対し安定化を図る。
- ・荷役に影響がないよう復旧工事を進める。

被災時の状況



舗装の亀裂・沈下



段差



ケーソンの移動

令和8年7月21日 現場の状況



7月の状況

【工事】7月1日に舗装撤去及び仮舗装の工事契約を行いました。ガードレールの撤去と外周道路の舗装撤去に着手しています。

【設計】ケーソン背後の改良について工法検討中。段差対策は詳細設計中となっています。

8月の予定

・外周道路の舗装を撤去したあと、路盤の状態を調査し、異常がなければ外周道路部分の仮舗装に着手します。この仮舗装は、工事用道路と港湾利用者の通路を兼用することとなります。

9月～10月の予定

・コンテナヤードの舗装を撤去し、一部分において仮ヤードの舗装を行います。（一時的なコンテナ荷捌地を設置し、荷役に支障が出ないように配慮します。）

11月の予定

・段差対策工事に着手

八太郎 1 号埠頭 E 岸壁野積場

地震による沈下及び舗装のひび割れが発生。応急復旧により、荷役は正常に行われていましたが、今年 4 月に舗装の陥没が発生し、過去に使用していた荷役機械の基礎コンクリートの下に空洞が発生していたことが確認され、基礎コンクリートの撤去が必要となっています。この工事は、国と県で復旧する工事となっています。



被災時の状況



令和 8 年 7 月 2 1 日 現場の状況



7 月の状況

直轄工事の舗装復旧が始まっています。

県工事分は、7 月上旬に 2 社と工事契約を行い、直轄工事の舗装復旧後となる 8 月上旬頃に着手する予定です。

・令和 7 年 1 2 月 2 0 日 応急復旧工事により舗装擦付を実施しています。

八太郎 4 号埠頭 P 岸壁野積場

地震により沈下及び舗装のひび割れが発生。応急復旧により、荷役は正常に行われています。本復旧の工事にあたっても、R O R O 船等の荷役に影響がないよう進める必要があります。この工事は、国と県で復旧する工事となっています。

被災時の状況



令和 8 年 7 月 2 1 日 現場の状況



- ・ 令和 8 年 1 月 1 5 日 応急復旧工事により舗装擦付を実施しています。
- ・ 7 月末現在は、直轄が着手済み、県は 9 月頃の着手予定となっています。

八太郎3号埠頭 八太郎N岸壁エプロン

※エプロン：岸壁の端部（海との境）から20mの幅の範囲

八太郎N岸壁は地震によりエプロン部に段差が発生しました。4月1日から国の補助金を受けて復旧工事に着手しています。



被災時の状況



令和8年6月1日 現場の状況



令和8年7月21日 現場の状況

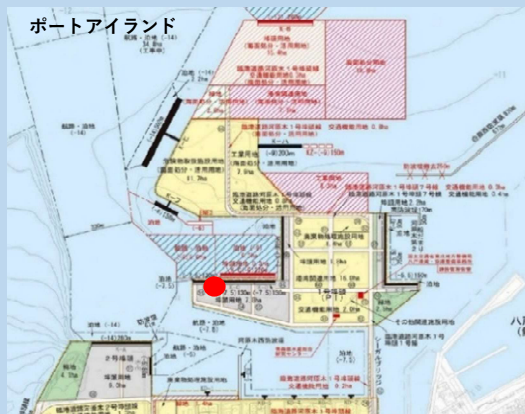


7月の状況

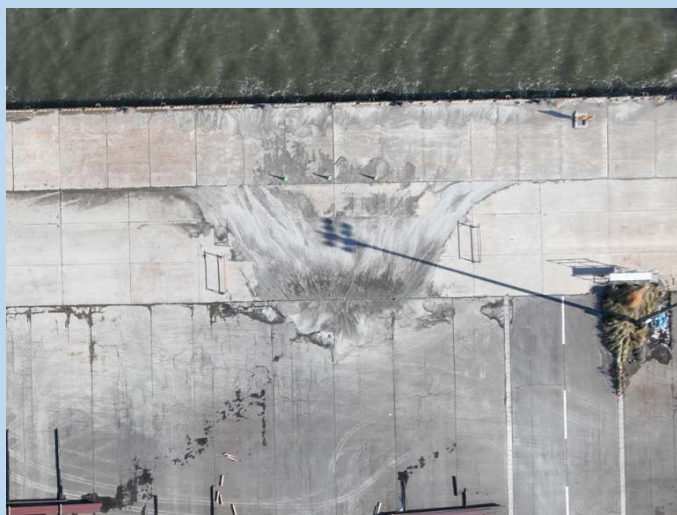
コンクリート舗装の施工に着手し、8月中にはコンクリート舗装の打設を完了。コンクリート強度養生後の9月に完成となる見込みです。

河原木 1 号埠頭 B 岸壁エプロン

地震によって液状化が発生し、土砂が噴砂しました。その影響でコンクリート舗装が持ち上がったため、舗装の下に空洞が生じ、舗装目地部に段差が発生しました。4 月 1 日から国の補助金を受けて復旧工事に着手しています。



被災時の状況



令和 8 年 7 月 2 1 日 現場の状況

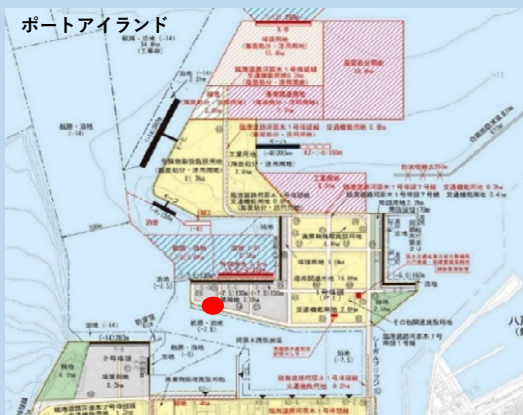


7 月の状況

既設コンクリート舗装を撤去し、路盤工の施工が完了しました。8 月中にはコンクリート舗装の打設を完了し、コンクリート強度養生後の 9 月に完成となる見込みです。

臨港道路 河原木1号埠頭3号線

地震によって液状化が発生し、土砂が噴砂しました。その影響で道路の舗装と側溝が持ち上がり、段差が生じました。舗装をもとの状態に戻すため、4月1日から国の補助金を受けて復旧工事に着手しましたが、令和8年7月6日に復旧工事が完了しました。



被災時の状況



令和8年5月29日 現場の状況



令和8年7月6日 完成



その他の港湾施設の復旧状況は八戸港湾・空港整備事務所ホームページに掲載しています。

[令和7年12月8日発生青森県東方沖地震八戸港災害復旧状況－八戸港湾・空港整備事務所ホームページ](https://www.pa.thr.mlit.go.jp/hachinohe/180/2026062929/20260623085432.html)

<https://www.pa.thr.mlit.go.jp/hachinohe/180/2026062929/20260623085432.html>



QRコードから
ご覧いただけます。